

第 37 回基本政策部会・第 59 回宇宙安全保障部会合同部会
議事要旨

1 日 時

令和 6 年 2 月 6 日（火） 15:00～16:20

2 場 所

中央合同庁舎第 4 号館 12 階 全省庁共用 1208 特別会議室

3 出席者

(1) 委 員

(基本政策部会)

白坂部会長、常田部会長代理、青木委員、石田委員、白田委員、片岡委員、栗原委員、中須賀委員、南委員、山崎委員

(宇宙安全保障部会)

鈴木部会長、片岡部会長代理、青木委員、遠藤委員、久保委員、白坂委員、新谷委員、中須賀委員

(2) ゲスト参加者

松尾委員長

(3) オブザーバ

宇宙航空研究開発機構（JAXA） 石井理事

(4) 事務局

宇宙開発戦略推進事務局

風木局長、渡邊審議官、滝澤参事官、加藤参事官、山口参事官、松本参事官

(5) 関係省庁

内閣官房内閣衛星情報センター管理部	市川管理部長
総務省国際戦略局宇宙通信政策課	扇課長
文部科学省研究開発局宇宙開発利用課	上田課長
文部科学省研究開発局宇宙開発利用課	竹上企画官
経産省製造産業局宇宙産業室	伊奈室長
国土交通省大臣官房技術調査課技術開発推進室	村上室長
国土交通省大臣官房技術調査課	山崎補佐
農林水産省大臣官房政策課技術政策室	齊賀室長
環境省地球環境局総務課気候変動観測研究戦略室	岡野室長
防衛省防衛政策局	荒参事官

4 議事要旨 (○：意見等)

事務局から資料1～3に基づいて説明。委員から以下の意見があった。

<宇宙技術戦略について>

- 利用者目線で分かりやすい「宇宙技術戦略」となるよう、類似技術の名称の差別化などを含め、文言を工夫していくべき。
- 重要技術の評価に関する議論の経緯の引継ぎを含め、ローリングを継続的に行うことのできる体制整備についても留意する必要がある。
- 技術を開発して終わりではなく、技術を活用し、実装・産業化していくことが重要。開発から実装・産業化まで、一貫したストーリーとなるように引き続き検討してほしい。
- 政府による積極的な活用に加え、活用が促進される環境整備も必要。
- 「宇宙技術戦略」を受けて、技術開発に向けた具体的なアクションとして取り組んでいくことが重要であり、何が障害となるのか含め、検討していく必要がある。
- 「宇宙技術戦略」の内容についてどのように海外にPRし、日本への投資の誘致や、海外との連携に繋げていくかという点も検討の必要がある。
- 「宇宙技術戦略」の策定の背景には、日本が世界に遅れを取りつつあることに対する危機感があると思う。他方、情報収集衛星やはやぶさなど、政府側に強いニーズがある分野に関しては、世界と戦える技術力が日本にもある。政府による宇宙システムの利用を含め、引き続き検討が必要。